

Examinee Number

受験番号

Name

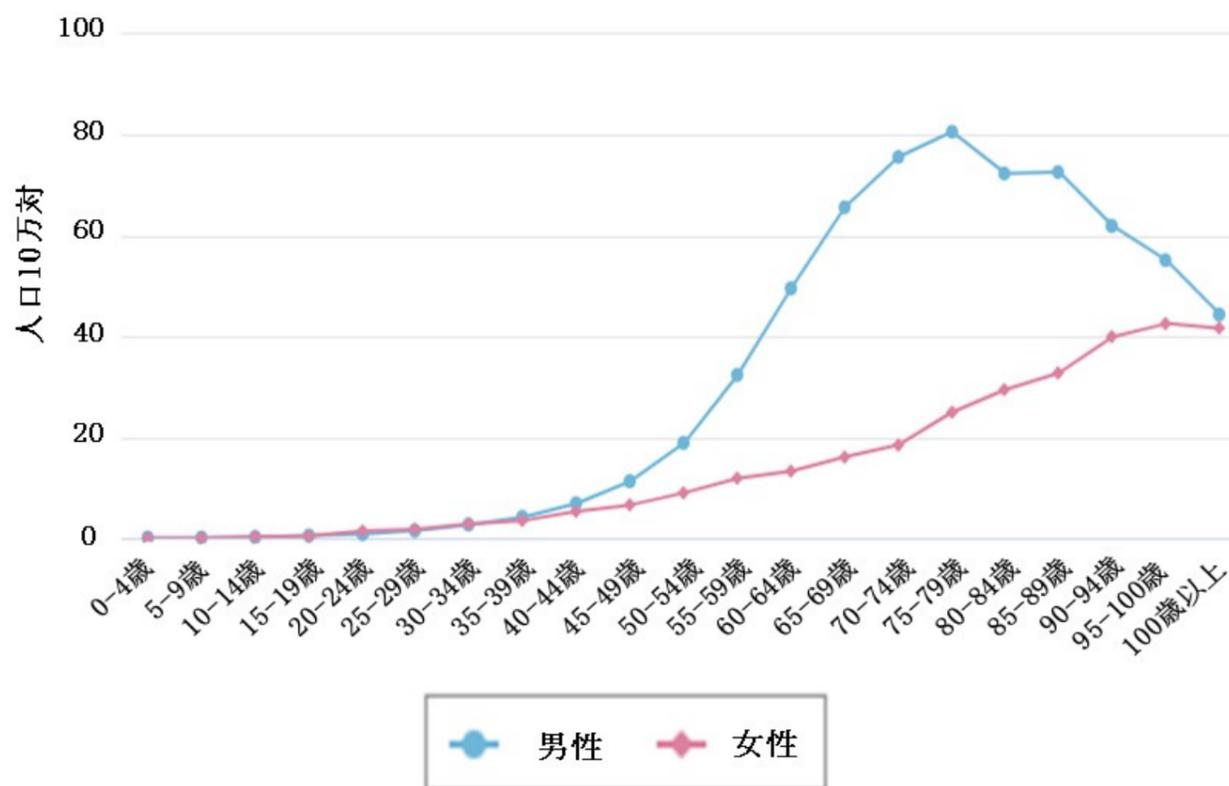
氏 名

口腔・咽頭がんの①年齢階級別罹患率、②年齢階級別死亡率、③臨床進行度別 5 年相対生存率、④罹患数と死亡数の年次推移を示す。

- それぞれのグラフから読み取れることを述べなさい。
- これらのグラフを参考にして、口腔がんの死亡率を低下させるためにはどのような取り組みが必要か述べなさい。

グラフ①

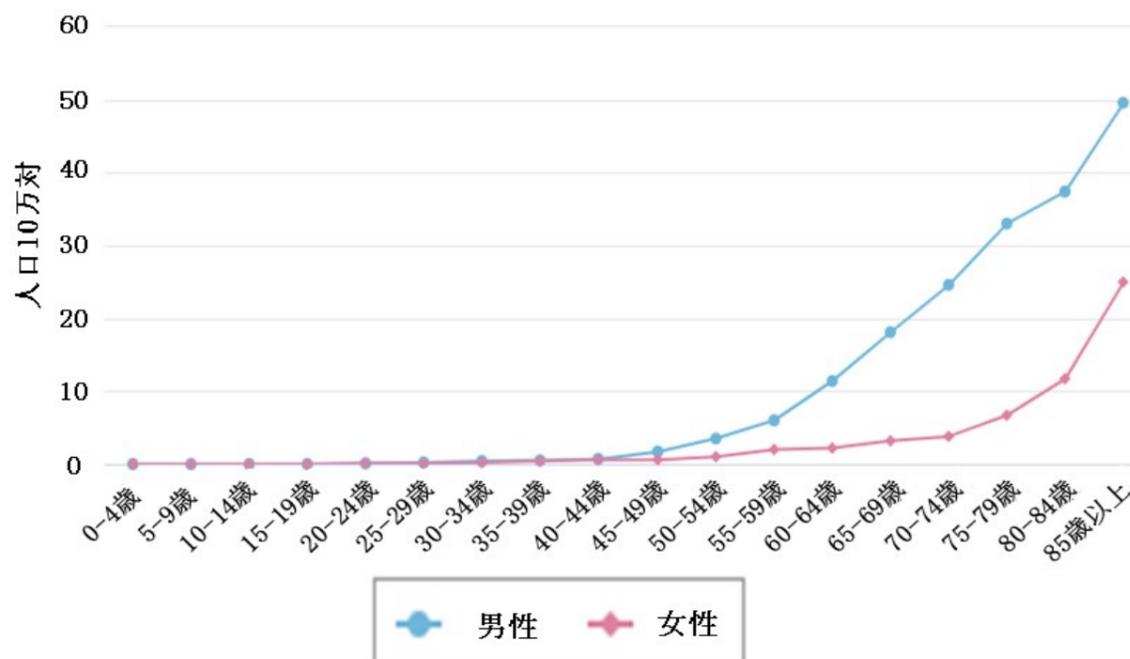
年齢階級別罹患率
【口腔・咽頭 2019年】



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」

グラフ②

年齢階級別死亡率
【口腔・咽頭 2020年】



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」

Examinee Number

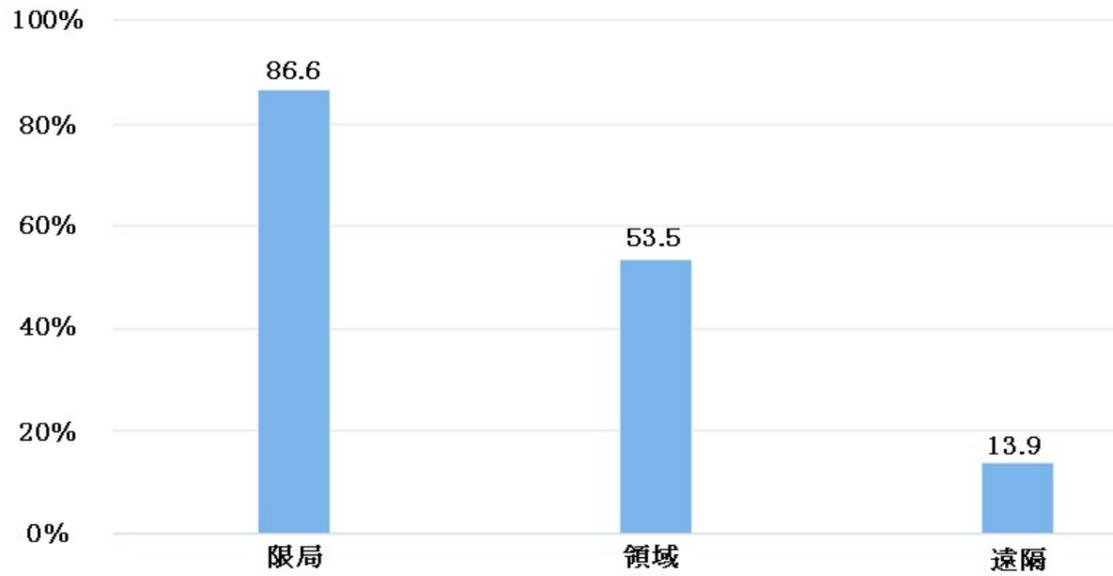
受験番号

Name

氏 名

グラフ③

臨床進行度別 5年相対生存率
【口腔・咽頭 男女計 年診断例】



相対生存率: あるがんと診断された場合に治療でどのくらい生命を救えるかを示す指標の一つ。異なる集団や時点などを比較するために用いられ、診断から5年後の相対生存率(5年相対生存率)が慣例的によく用いられます。

出典: 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」

限局 (がん): 口腔・咽頭に限局しているもの。 領域 (がん): 領域 (所属) リンパ節や隣接臓器へ浸潤があるもの。
遠隔 (がん): 領域 (所属) 外リンパ節や他の臓器に転移があるもの。

グラフ④

部位別 死亡数(全国)・罹患数(全国) 年次推移
[男女計, 全年齢]



資料: 国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」

Examinee Number

受験番号

Name

氏 名
